

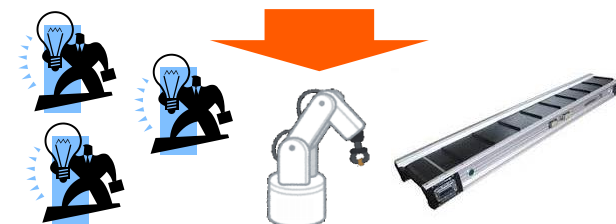
導入コスト削減ワーキンググループ

溶融亜鉛めっき工場をフィールドにしたロボット導入FS

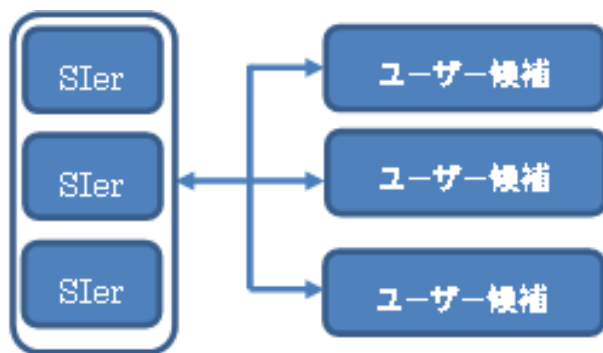
- 複数のSIerが連携し、複数の同業企業への導入を想定した汎用性の高いシステムインテグレーションを検討し、1社あたりのコストダウン（SI費用の低減）を試みるFSを実施。
- 今年度は、一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会 西日本支部の協力を得て、過酷作業の一つであり、人手不足に悩む溶融亜鉛めっき工場を対象に取り組む。ロボット導入意欲の高い7社の同協会会員企業（いずれも大阪府内本社）がユーザー候補としてワーキンググループの事業に参画する。
- 「複数のSIer」が「複数のユーザー候補」の現場視察やヒアリングを通じ、めっき作業の工程を分析。その中からロボット化に適した共通の作業を洗い出し、汎用性の高いロボットシステムの構築を目指す。



人手で作業する過酷な溶融亜鉛メッキの現場



- SIer連携による低コストロボットシステムの開発
- 業界全体への汎用ロボット導入による現場カイゼンの実現



※SIerは、ユーザー候補の声を聞き、どのようなロボットシステムを開発すれば多くの企業に受け入れられるのか、などの知見を得る。また、ユーザー候補がロボット導入に関する知識を深める場としても機能させる。

【運営】
大阪商工会議所

- 【メンバー】
- プロジェクトマネージャー
公益財団法人 新産業創造研究機構 ロボット産業コーディネーター 中土宜明 氏
 - コーディネーター
大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 特任教授 野田哲男 氏
大阪工業大学 工学部 環境工学科 准教授 皆川健多郎 氏
 - SIer
泉谷機械工業株式会社、東洋機器工業株式会社、東洋理機工業株式会社
有限会社ヒサミツ、株式会社ブリッジ・ソリューション
 - 金融機関
株式会社日本政策金融公庫、株式会社りそな銀行